

牧区地域協議会だより

令和2年6月25日発行（第49号） 発行：牧区地域協議会

ごあいさつ

牧区地域協議会

会長 西山 新平

今年四月に地域協議会委員の任期満了に伴う改選が行われ、新任委員七名を含む第五期の委員十二名が決定しました。また、委員の方々の推薦により、会長という重責をお引き受けすることになりました。今後四年間、地域の皆様方や関係機関と協力しながら職務を全うしたいと思えます。併せて、地域の課題や問題点などを拾い上げ、自主的審議事項として議論し、市に提案したいと考えておりますので、皆様のご意見等をお寄せいただければ幸いです。何卒、皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

さて、今年度の地域協議会については、五月十五日を皮切りに定例会を三回開催しており、地域活動支援事業のヒアリングと審査にも取り組みました。今年度は九件の事業提案があり、基準に沿って慎重に審査を行った結果、提案事業のすべてを採択することに決定しました。採択となったすべての事業が補助希望額どおりの配分となっており、すばらしい事業が実施されるものと期待しております。

今期も、地域協議会だよりを随時発行させていただきますので、ご講読の程よろしくお願ひ申し上げ、就任と発行のご挨拶とさせていただきます。

第五期牧区地域協議会委員が選任されました。

五月十五日に開催された第一回牧区地域協議会において、任命書交付式及び会長・副会長の選任を行いました。

今後、地域の課題解決等に向けて活動していただきます。

（任期：令和二年四月二十九日～令和六年四月二十八日まで）

会長	西山 新平	（山口）再
副会長	飯田 秀治	（岩神）再
委員	池田 幸弘	（高谷）新
	井上 光廣	（荒井）新
	小黒 誠	（原）新
	折笠 忠一	（神谷）新
	坂井 雅子	（小川）新
	佐藤 祐子	（棚広）再
	清水 薫	（宮口）再
	高澤 富士雄	（大月）新
	難波 一仁	（上牧）再
	横尾 哲郎	（泉）新

（敬称略）



令和二年度地域活動支援事業の採択事業が決定しました。

今年度は四月一日から四月二十四日までの募集期間に、九件の事業提案書が提出され、地域活動支援事業の目的に合致しているか、また、牧区の採択方針に合致しているか等の視点から審査を行いました。

五月二十四日に開催した「第二回牧区地域協議会」では、各提案団体から事業説明を受けた後、地域協議会委員の質疑と審査を実施しました。

その結果、提案された九件すべての事業が採択され、補助金額の合計は四百九十七万五千円となりました。

また、牧区の予算額（配分額）が五百万円であるため、二万五千円の残額が生じましたが、協議の結果、二次募集は実施せず市へ返納することに決定しました。

採択された事業については、裏面をご覧ください。



令和2年度 地域活動支援事業採択事業一覧

(単位：千円)

番号	事業の名称	事業内容の概要	団体名	採択額
1	自主防災活動支援事業	自主防災活動が停滞している町内会等を対象に出前研修会や訓練を行い、これらの活動を通して災害に対する知識や技術を習得してもらい、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図る。併せて、自主防災の必要性や重要性を認識してもらう。	牧区防災士会	420
2	屋号を活かし、地域を活性化させる事業	高齢化が進む地区の「屋号」を調査し、表札を作成することで、日本人が誇るべき文化を後世に伝えるとともに、集落全体での活動を通し、牧区に定住しようとする人材の育成と生活環境の維持向上、地域活性化を図る。	屋号を残す会	246
3	地域づくり活性化事業	昨年度に、牧区に必要なものを見据えることを目的にワークショップを行った。この中で立ち上がった事業の内、子育て支援事業の実現に向け、私達自身で助け合い、支え合うことで発展する仕組みづくりの構築を目指す。	NPO法人 牧振興会	578
4	川上 山里の風事業	各種イベントを通して、地域住民が安らぎや誇りを感じ絆を深めることを目的に、国登録有形文化財「川上会館」を整備し、継続的にイベント等が開催できるよう管理していく。併せて、山間地や木造会館の魅力を地区内外へ発信していく。	川上地区協議会	900
5	沖見地区観光拠点づくり事業	令和元年度に本事業を活用してレストハウス「けやき」前の荒廃地を整備し、併せて、紫陽花及びヤマブキの植栽を行った。活動を継続し、整備することで、沖見地区の美しい観光スポットを目指す。	レストハウス 「けやき」周辺 整備の会	260
6	地域の活性化促進事業	地域の活性化と発展持続性、地域外への情報発信を目的に、「まき深山のともしび」を開催する。また、重機等をレンタルし、冬期間におけるイベントの支援を行う。	牧区地区協議会 連絡会議	993
7	「おら村の花嫁行列」再現事業	一昔前、この村にあった「花嫁行列」を再現、保存し、うれしいことを一緒に祝うという地域文化を、大勢の方に体験していただくことで、この地域を愛する気持ちを後世につなげていく。	牧文化協会	333
8	泉 棚田ほたる事業	各種イベントを通して、地域住民が誇りや喜びを感じ絆を深めることを目的に、棚田にモニュメント（棚田の鐘）やLEDライトを設置して整備を行い、継続的にイベント等が開催できるよう管理していく。併せて、山村の魅力を区内外へ発信し、交流人口の創出を図る。	泉町内会	836
9	上牧番所、塩の道、古代詞の保存と観光地域交流整備事業	本事業を活用し復元した「口留番所」について、小学校の勉強会開催や観光客で来場者が増えている。来場者が現地にて安全に歴史等が学べるようにすること及び地域交流、元気なまちづくりを推進するため、環境の整備を行う。	上牧町内会	409
牧区予算額（配分額）5,000		合 計		4,975

編集後記

今年度から牧区地域協議会委員に任命され、初めて地域活動支援事業のヒアリングと審査に参加させて頂きました。様々な団体から事業提案があり、改めて沢山の方々が地元牧区の為に活動されていることに気付かされました。

ヒアリングの際、各団体に共通していたのは、「少子高齢化による人手不足」とのことでした。そんな中でも、各団体は牧区の活性化の為に様々な工夫を取り入れて事業を計画されており、ご苦労がうかがえました。

また、今年は、「新型コロナウイルス」また、感染拡大防止の観点から、計画した事業が実施できるのか」との声が多く聞かれました。何時終息するかは分かりませんが、多くの方が色々な事業に参加して頂けることが、必ず地域の活性化に繋がると思いますので、宜しくお願い致します。

編集委員 池田 幸弘